

# 中東情勢緊迫化で供給・輸送量減

## ■ IATA 統計・3月

国際航空運送協会（IATA）がまとめた統計によると、2026年3月の貨物輸送量（貨物トンキロ=CTK）は前年同月比4.8%減となった（表①参照）。国際貨物に限ると同5.5%減と、より大きいマイナス幅を示した。国際貨物の供給量（有効貨物トンキロ=ACTK）は同6.8%減。国際貨物の貨物ロードファクターは同0.8ポイント増の54.8%だった。中東情勢の緊迫化により、湾岸地域の主要ハブで深刻な混乱が生じたことを主因に、輸送量、供給量ともに前年割れとなった。加えて、例年の旧正月後の需要減速の時期も下押し要因となった。

地域別にみると、中東の航空会社の輸送量、供給量が半減となった。中東のCTKは54.3%減、ACTKは52.4%減だった。

主要レーン別の貨物輸送量成長率（CTKベース）を見ると、アジアー北米（市場シェア23.4%）が2カ月連続増、欧州ーアジア（同21.5%）が37カ月連続増などとなったのに対し、中東ーアジア（同7.4%）は58.6%減、欧州ー中東（同5.2%）は57.6%減と激減した。

IATAのウィリー・ウォルシュ事務総長は、「現時点で基調的な需要動向は堅調に見える。世界貿易機関（WTO）と国際通貨基金（IMF）が最近見直し

	2026年3月実績(前年同月比)					2026年1~3月実績(前年同期比)			
	市場シェア* (単位:%)	輸送量 (CTK)	供給量 (ACTK)	貨物LF (ポイント)	貨物LF (水準)	輸送量 (CTK)	供給量 (ACTK)	貨物LF (ポイント)	貨物LF (水準)
総合(国際+国内)	100.0	▲4.8	▲4.7	▲0.1	47.9	3.3	1.9	0.6	46.4
アフリカ	2.1	7.0	▲4.6	5.4	49.6	14.3	3.6	4.3	46.3
アジア太平洋	36.0	5.4	5.0	0.2	48.9	8.9	6.2	1.2	46.6
欧州	21.3	2.2	4.2	▲1.1	59.9	4.8	5.0	▲0.1	57.6
南米	2.9	1.8	5.1	▲1.3	38.3	▲1.0	4.0	▲1.8	34.7
中東	13.2	▲54.3	▲52.4	▲1.9	45.7	▲12.4	▲10.8	▲0.8	43.1
北米	24.5	▲1.2	▲1.1	0.0	40.6	1.8	0.2	0.6	41.8
<b>国際貨物</b>	<b>88.0</b>	<b>▲5.5</b>	<b>▲6.8</b>	<b>0.8</b>	<b>54.8</b>	<b>3.6</b>	<b>2.3</b>	<b>0.7</b>	<b>51.6</b>
アフリカ	2.1	7.0	▲4.6	5.5	51.3	14.3	3.5	4.6	48.0
アジア太平洋	32.2	5.5	3.5	1.1	56.2	9.1	6.3	1.4	52.9
欧州	21.0	2.4	4.1	▲1.0	62.2	5.0	5.0	0.0	59.9
南米	2.5	2.6	4.7	▲0.9	44.2	0.5	3.8	▲1.3	39.6
中東	13.2	▲54.2	▲53.0	▲1.3	46.7	▲12.4	▲10.9	▲0.7	43.6
北米	17.1	▲1.5	▲0.6	▲0.5	49.7	2.9	2.9	0.0	48.9

\*市場シェアは2025年のCTKベース  
CTK=貨物トンキロ  
ACTK=有効貨物トンキロ  
貨物LF=貨物ロードファクター

注)地域別航空会社の貨物輸送実績増減。市場全体および地域別成長率は各航空会社の実績レポートおよび一部レポートの無いところは推測に基づく。なお、航空会社の輸送実績は登記上の国籍をもとに地域別に振り分けたものであり、該当する地域ごとの輸送規模を示すものではない

た貿易・GDP見通しでも、26年の成長は維持されている。航空貨物ネットワークは、地政学的緊張、関税、オペレーション上の制約に対応するグローバルサプライチェーンを支えるうえで、必要な柔軟性を提供している」と指摘した。

そのうえで、「今後数カ月は燃料供給と価格の動向が業界の耐久力を試すことになる」と警戒感を示した。

事業環境を見渡すと、世界の鉱工業生産が2月に前年同月比3.1%増となり、38カ月連続で拡大した。世界の商品貿易も同8.0%増加したことはプラス要因だ。一方、ジェット燃料価格は3月に急騰し、前年同月比約2.1倍（106.6%増）となった。原油

表② 主要レーンの2026年3月貨物輸送量成長率  
(CTKベース、市場規模順)

路線	需要伸び率(CTK)	備考	市場シェア
アジアー北米	0.8%	2カ月連続増	23.4%
欧州ーアジア	14.2%	37カ月連続増	21.5%
欧州ー北米	▲3.4%	マイナス転換	13.5%
中東ーアジア	▲58.6%	マイナス転換	7.4%
アジア域内	7.5%	29カ月連続増	7.3%
欧州ー中東	▲57.6%	マイナス転換	5.2%
欧州域内	2.3%	2カ月連続増	1.9%
アフリカーアジア	22.6%	9カ月連続増	1.3%

※市場シェアは2025年通年のCTKベース

価格も43.1%上昇し、精製マージンは約4.2倍（320%増）に急伸した。

製造業の景況感は3月も拡大圏を維持した。購買担当者景気指数（PMI）は51.4となり、2月からやや低下したものの、景況判断の節目である50を上回った。新規輸出受注PMIも50.1と拡大圏を維持し、航空貨物需要にとって前向きな環境を示している。

詳細は表①、表②の通り。